

教科・科目	【理科・化学基礎】	単位数：2 単位 履修年次：1 年次
目標	物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。	
教材	化学基礎（数研出版）、新課程版 2022 標準セミナー 化学基礎（第一学習社）	
学習方法	科学的に探究しようとする意識をもちながら授業を受講すること。授業用ノートを準備し、単なる板書のコピーにとどまらず、口頭の説明等も適宜記入し、オリジナルなノートを作成すること。疑問点はその日のうちに解決するようにし、問題集用ノートを準備し、問題集の問題を解いて必ず復習すること。単元終了ごとに、学びの振り返りをし、目標達成状況を確認する。	

● [評価規準・評価方法・めざす資質と能力]

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	活支援でなきしるで	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解していると共に、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などに関する基本的な技能を身につけ（支援なしで）活用できる。	物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、科学的に探究する力を身に付け、これらの事象を簡潔・明瞭・的確に（支援なしで）表現することができる。	物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。
	活支援でありきりるで	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解していると共に、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけ（支援があれば）活用できる。	物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、科学的に探究する力を身に付け、これらの事象を簡潔・明瞭・的確に（支援があれば）表現することができる。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。
	でわかかる	物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	物質とその変化に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。
評価方法		定期考査・実力テスト・確認テスト 小テスト	定期考査・実力テスト・実験レポート	授業に臨む姿勢・自己評価シート・その他の自主的な研究

麻高GP					
	1 自律性	2 協働性	3 主体性	4 課題解決能力	5 情報活用能力
					
	6 実践・発信力	7 メタ認知能力	8 探究心	9 チャレンジ精神	10 レジリエンス力

● [学習計画]

学期	月	学習内容	評価方法
前期	4月～ 5月	第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成 1 混合物と純物質 2 物質とその成分 3 物質の三態と熱運動 第2章 物質の構成粒子 1 原子とその構造 2 イオン 3 周期表	・確認テスト ・小テスト ・授業・実験に臨む姿勢 ・実験レポート ・第1回定期考査 ・第1回実力テスト ・第2回定期考査 ・自己評価シート ・その他自主的な研究
	6月～ 8月	第3章 粒子の結合 1 イオン結合 2 分子と共有結合 3 分子間にはたらく力 4 共有結合結晶 5 金属結合	
	9月	第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 1 原子量・分子量・式量	
後期	10月～ 11月	2 物質 3 化学反応式と物質 第2章 酸と塩基の反応 1 酸・塩基 2 水の電離と水溶液の pH	・確認テスト ・小テスト ・授業・実験に臨む態度 ・実験レポート ・第3回定期考査 ・第2回実力テスト ・第4回定期考査 ・自己評価シート ・その他自主的な研究
	12月～ 2月	3 中和反応 4 塩 第3章 酸化還元反応 1 酸化と還元 2 酸化剤と還元剤 3 金属の酸化還元反応	
	3月	4 酸化還元反応の利用	

● [評価規準]

	学期末観点別評価点	第1(3)回考査評価点	第2(4)回考査評価点	3観点別評価点小計	評価達成率		学期・年度末3観点別評価	学期・年度末評価
知識・技能	10	35	35	$\alpha = 0 \sim 45$	$\textcircled{1} = (\alpha / 45) \times 100$		A～C	
思考・判断・表現	10			$\beta = 0 \sim 45$	$\textcircled{2} = (\beta / 45) \times 100$		A～C	
主体的に学習に取り組む態度	10			$\gamma = 0 \sim 10$	$\textcircled{3} = (\gamma / 10) \times 100$		A～C	
3観点別評価点小計	30	35	35	0～100	$\textcircled{4} = (\textcircled{1} + \textcircled{2} + \textcircled{3}) / 3$			5～1

評価達成率①～③		観点別評価
66～100	「十分満足できる」状況と判断されたもの	A
21～65	「おおむね満足できる」状況と判断されたもの	B
0～20	「努力を要する」状況と判断されたもの	C

全評価達成率④		評価
85～100	「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されたもの	5
65～84	「十分満足できる」状況と判断されたもの	4
40～64	「おおむね満足できる」状況と判断されたもの	3
20～39	「努力を要する」状況と判断されたもの	2
0～19	「努力を要すると判断されたもののうち、特に程度が低い」状況と判断されたもの	1